

岡山県産業廃棄物協会第2次労働災害防止計画に基づく  
令和3年度安全衛生活動計画

産業廃棄物処理業における労働災害は、他の業種に比べ発生の頻度が高く、危険度も高いことから、当協会では（公社）全国産業資源循環連合会と連携し、令和2年度から3年間の期間とする「第2次労働災害防止計画」を作成し安全衛生活動に取り組んでいる。この達成に向けて、岡山県内の労働災害の発生状況及び会員の安全衛生活動アンケート調査結果を基に、令和3年度の活動計画を次のとおり定める。

1. 計画目標

目標年次：令和4年12月

目標数値：死亡者数をゼロにする。

休業4日以上の死傷者数を19人以下にする。

2. 労働災害の発生状況

区分	令和1年	令和2年	目標 令和4年
死亡者数	0人	2人	0人
休業4日以上の死傷者数	30人	18人	19人

厚生労働省岡山労働局資料より抜粋

3. 活動目標

活動目標	令和1年 基準	令和2年 実績	令和3年 目標
(1) 安全衛生活動アンケート調査の回答数	143社	165社	172社
(2) 協会の安全衛生事業を認知している会員数	128社	131社	154社
(3) 協会の研修会に参加する会員数	31社	未実施	38社

活動目標	令和1年 基準	令和2年 実績	令和3年 目標
(4) 連合会の支援ツールを 認知している会員数	94社	100社	113社
(5) 安全衛生パトロールを 実施している会員数	100社	96社	120社
(6) ヒヤリ・ハット活動を 実施している会員数	95社	109社	114社
(7) リスクアセスメントを 実施している会員数	65社	70社	78社
(8) 安全衛生規程を作成 している会員数	44社	42社	53社
(9) 安全衛生管理体制を 構築している会員数	108社	124社	130社

#### 4. 目標達成のための取組事項

##### (1) 普及啓発

- ・ 会報誌、ホームページ等を通じ、安全衛生意識の高揚を図る。【重点取組】
- ・ 研修会を開催し、会員企業における安全衛生知識等習得の場とする。
- ・ ヒヤリ・ハット調査を実施し、結果をフィードバックする。【重点取組】
- ・ 安全衛生保護具等を紹介し、普及啓発を図る。
- ・ 全国産業資源循環連合会の啓発資料の配布、安全衛生サイトを紹介する。

##### (2) 調査研究

- ・ 毎年、会員企業の活動状況を調査し、翌年の取組みに反映する。
- ・ 県内における労働災害発生状況の動向を把握し、未然防止策を研究する。
- ・ 実効性のある安全衛生事業を検討、実施する。